

農業系だより

2018.6.15発行（利根実業高校農業系だより） No. 5（第100号）

高校環境化学最優秀賞(松居記念賞)

5月23日(水)に、沖縄県市町村自治会館(那覇市)で開催された、(一社)日本環境化学会主催 第27回環境化学討論会において、第13回高校環境化学賞 最終審査が開催され、生物資源研究部 代表2名が出場しました。

高校環境化学賞には、全国より32件の応募がありました。学会員による1次審査(論文審査)を通過した上位3校が、最終審査(ポスター審査)に進み、本校が最優秀賞(松居記念賞)に選出されました。

翌日には、学会主催の高校生シンポジウムが開催され、最優秀賞校として堂々とした態度で臨み、口頭発表による研究成果を全国の高校生に情報発信しました。

この学会は、環境化学についての研究交流を行っている学術団体で、大学・国公立研究機関・民間研究機関の研究者を中心に会員数約1500名で活動しています。

高山さんは「イノシシ研究が、研究者より高く評価され、念願の全国最優秀賞が取れて感動しました。このバトンを後輩達にリレーしていきたい。」、我妻さんは「先輩達からの研究の積み重ねで受賞できました。とても嬉しいです。全国高等学校総合文化祭信州総文でも、県代表として『日本一』を目指して取り組んでいきたい。」とコメントをしてくれました。これからの活躍にも期待します。



○ 研究題目

「イノシシの生態・行動調査と農業廃材を利用した侵入防護に関する研究」

○ 論文執筆者

3A1 高山七星(月夜野中出身)、3A2 我妻園華(月夜野中出身)

2A1 狩野志帆(片品中出身)、山之内鮎美(月夜野中出身)

○ 最終審査出場者

3年生2名(高山、我妻)

校内各種発表会

6月6日(水)に、農業クラブ各種発表会が開催されました。プロジェクト発表では、過去最高の8部門の発表がありました。

学校代表に選出されたチームと代表生徒は、8月に開催される関東大会山梨大会出場を目指して取り組んでください!

○ プロジェクト発表

最優秀賞:「イノシシの生態・行動調査と侵入防護に関する研究」生物資源部

大衆賞:同上

☆ 学校代表

分野Ⅰ類:「私たちのV字プロジェクト～お米の消費拡大を目指して～」食品文化部

分野Ⅱ類:「イノシシの生態・行動調査と侵入防護に関する研究」生物資源部

分野Ⅲ類:「ビーツで地域を活性化-Regional Promotion with Beetroot-」食品文化部

○ 意見発表

最優秀賞:大坪直也(新治中出身)

大衆賞:中村めぐみ(沼田東中出身)

☆学校代表 分野Ⅰ類:大坪直也(新治中出身)

分野Ⅱ類:狩野志帆(片品中出身)

分野Ⅲ類:鈴木和幸(沼田中出身)

※大衆賞は、生徒の得票数が多かった発表です。

○ 審査員長講評(農場長)

今年の発表は、レベルが高く素晴らしい内容でした。プロジェクト発表では、地域の一員として研究活動に取り組む姿勢が顕著に現れていました。また、意見発表は、クラス代表14名全員の内容が濃く、自分の感じていることや考え方を聴衆に伝えることができ感銘を受けました。

○ 最優秀賞に輝いて

「2年連続して関東大会出場を逃していません。念願の全国大会を目指して取り組んでいきたいです。」(生物資源部)

「1年生の時の関東大会は悔しい結果でした。リベンジする気持ちで取り組み、日本一を目指します。」(大坪直也)



編集後記

『農業系だより』も発行より100号を向かえることができました。節目に巻頭で『日本一』の記事を紹介できたことは素晴らしいことです。これからも、生徒の活躍を掲載していきたいと思えます。

『目指せ!日本一の専門高校』、『チャレンジ&ビクトリー!』

